

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年12月10日(2015.12.10)

【公開番号】特開2015-119906(P2015-119906A)

【公開日】平成27年7月2日(2015.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2015-042

【出願番号】特願2013-266573(P2013-266573)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月22日(2015.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の変動表示が終了してから所定時間が経過すると非遊技状態に移行し、該非遊技状態中に演出環境設定表示部を表示して、遊技者が演出環境を任意に設定可能な遊技機であって、

所定の入力手段の操作を検知可能な入力検知手段を備え、

前記演出環境には基準設定が定められており、

前記識別情報の変動表示中であって前記演出環境設定表示部が表示されていないときに、前記入力検知手段により所定の入力が検知されると、前記演出環境を前記基準設定に近付ける

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

識別情報の変動表示が終了すると非遊技状態に移行し、該非遊技状態中に演出環境設定表示部を表示して、遊技者が演出環境を任意に設定可能な遊技機であって、

所定の入力手段の操作を検知可能な入力検知手段を備え、

前記演出環境には基準設定が定められており、

前記識別情報の変動表示中であって前記演出環境設定表示部が表示されていないときに、前記入力検知手段により所定の入力が検知されると、前記演出環境を前記基準設定に近付ける

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明の遊技機は、上述の主目的を達成するために以下の手段を採った。

即ち、本発明の遊技機は、

識別情報の変動表示が終了してから所定時間が経過すると非遊技状態に移行し、該非遊

技状態中に演出環境設定表示部を表示して、遊技者が演出環境を任意に設定可能な遊技機であって、

所定の入力手段の操作を検知可能な入力検知手段を備え、

前記演出環境には基準設定が定められており、

前記識別情報の変動表示中であって前記演出環境設定表示部が表示されていないときに、前記入力検知手段により所定の入力が検知されると、前記演出環境を前記基準設定に近付ける

ことを要旨とする。

また、識別情報の変動表示が終了すると非遊技状態に移行し、該非遊技状態中に演出環境設定表示部を表示して、遊技者が演出環境を任意に設定可能な遊技機であって、

所定の入力手段の操作を検知可能な入力検知手段を備え、

前記演出環境には基準設定が定められており、

前記識別情報の変動表示中であって前記演出環境設定表示部が表示されていないときに、前記入力検知手段により所定の入力が検知されると、前記演出環境を前記基準設定に近付ける

ことを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、本明細書において参考的に開示する参考発明の遊技機は、

遊技者が演出環境を任意に設定可能な遊技機であって、

遊技者からの入力を検知可能な入力検知手段を備え、

遊技者が演出環境を任意に設定可能な演出環境任意設定可能期間と、遊技者が演出環境を任意に設定不能な演出環境任意設定不能期間と、を有し、

前記演出環境任意設定不能期間に、前記入力検知手段により所定の入力が検知されると、演出環境を所定の制限下で設定変更する

ことを要旨とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

この参考発明の遊技機では、遊技者が演出環境を任意に設定可能な演出環境任意設定可能期間（単に「演出環境設定期間」ともいう）と、遊技者が演出環境を任意の設定値に変更できない演出環境任意設定不能期間（単に「演出環境設定期間外」ともいう）とを備え、演出環境設定期間外で演出環境を任意に設定可能でないときでも、遊技者からの所定の入力が検知されると、演出環境を所定の制限下で設定変更する。このため、遊技者は、演出環境を任意に設定可能でないときであっても、任意の設定に変更はできないものの、演出環境を所定の制限下で設定変更することができるから、遊技者が演出環境を設定変更する機会を増やすことができる。これにより、遊技者が設定可能な演出環境に関する利便性を向上させて、遊技者が演出環境に違和感を感じて遊技興味が低下するのを抑制することができる。

なお、「演出環境を任意に設定可能」とは、演出環境を設定可能な範囲内で遊技者が任意に（所望の設定値に）設定できることを意味し、「演出環境を所定の制限下で設定変更

」とは、演出環境の設定可能な範囲内よりも制限された制限範囲内で演出環境を変更することを意味する。

ここで、遊技機の「演出」としては、遊技の進行に伴って表示される識別情報（図柄）の変動表示や、識別情報等が表示される表示領域の背景表示や、当該変動表示や当り遊技等の遊技の進行に合わせて出力される音声・効果音・発光・可動物の作動や、遊技が実行されていない（識別情報が変動表示されていない）ときに出力される表示（デモ画面等）・音声・効果音・発光・可動物の作動等が例示される。また、「演出環境」とは、例えば、音声や効果音の音量や、発光の輝度や、表示されるキャラクタ（図柄）の種類や、液晶等の表示手段の輝度・コントラスト等や、遊技モードの種類（省エネモード・通常モード等）や、遊技履歴等の情報を見たり記憶したりするモードの設定等が例示される。また「基準設定」とは遊技機に予め定められた所定の演出環境の設定（設定値）をいう。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、参考発明の遊技機において、
前記演出環境には基準設定が定められており、
前記演出環境任意設定不能期間に前記入力検知手段により所定の入力が検知されると演出環境を前記基準設定にする
ものとすることもできる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

また、参考発明の遊技機において、
前記演出環境には基準設定が定められており、
前記演出環境任意設定不能期間に前記入力検知手段により所定の入力が検知されると演出環境を前記基準設定に近付ける
ものとすることもできる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

また、参考発明の遊技機において、
遊技に関する情報が記憶された記録媒体の返却を指示する際に遊技者により操作される返却操作手段を備え、
前記入力検知手段は、前記返却操作手段に対する遊技者の操作を入力として検知する
ものとすることもできる。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

また、参考発明の遊技機において、
識別情報の変動表示を行うことにより遊技を進行し、
前記演出環境設定表示部は、

前記演出環境任意設定可能期間は、前記識別情報の変動表示が行われていない期間に設定され、所定の表示部に遊技者が演出環境を任意に設定するための演出環境設定表示部を表示可能であり、

前記演出環境任意設定不能期間は、前記識別情報の変動表示が行われている期間に設定され、前記所定の表示部に前記演出環境設定表示部を表示不能である

ものとすることもできる。